

# 「法の日」週間行事 法曹三者共催企画 法曹とともに ～司法を支える人々～ 裁判官とともに 家庭裁判所調査官

国民の皆さんに、法の役割や重要性について考えていただくきっかけとなるように、毎年10月1日からの1週間を「法の日」週間とし、各種の行事を実施しています。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、来庁を伴う行事の開催に代え、法曹三者(裁判官/検察官/弁護士)とともに司法を支える職種の一つである家庭裁判所調査官についてご紹介いたします。

家庭裁判所調査官は、裁判所という法律の世界において、心理学、社会学、社会福祉学、教育学といった行動科学等の専門的な知見や技法を活用して、家庭内の紛争解決や非行少年の立ち直りに向けた調査活動を行い、裁判官や裁判所書記官と一緒にチームを組んで協力し合い、家庭裁判所の適正・迅速な審理を支えている職種です。

今回名古屋家庭裁判所半田支部に勤務する瀬戸英理奈家庭裁判所調査官にインタビューを行い家庭裁判所調査官の職務内容に迫りました。



《対談者と名古屋家庭裁判所半田支部庁舎前にて》

## 1 これまでの経歴等について

### (1)出身

神奈川県です。

### (2)裁判所での採用年

平成26年です。

### (3)調査官への任官年

平成28年です。

### (4)調査官としての経験部署

少年係調査官1年

家事係調査官5年です。

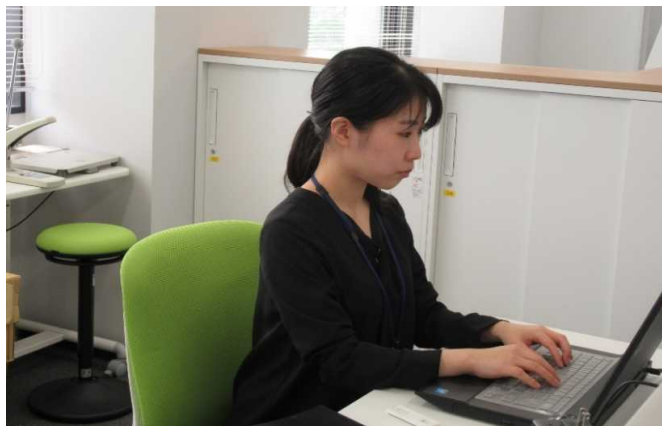
### (5)最近の趣味等

自粛期間中から、自宅ですることができる筋トレやストレッチにはまっています。

## 2 家庭裁判所調査官になろうと思ったのはなぜですか。

大学の先輩が家庭裁判所調査官になったと聞き、家庭裁判所調査官という仕事を知りました。

少年事件について、多角的な視点を持って事件の原因を考える点や少年に更生に向けて働きかけができる点に魅力を感じ、家庭裁判所調査官を目指しました。



《名古屋家庭裁判所半田支部事務室》



《調査官メンバーとのミーティング》

3 どんな場面で家庭裁判所調査官の仕事の難しさや責任の重さを感じますか。

家事事件も少年事件も、それぞれの人生の大事な局面にいる方たちとお会いし、お話をお聞きするため、責任の重い仕事だと感じます。

当事者や少年のために、自分自身に何ができるのか、家庭裁判所調査官として行動科学等の専門的な知見や技法を身に付けられているのか、毎回悩みながら仕事をしています。

4 家庭裁判所調査官としてやりがいを感じたエピソードを紹介してください。

少年事件を担当していた際に、補導委託(少年事件の最終的な処分を決める前に、社会奉仕や慈善事業を熱心に行う民間の篤志家の方に少年を預け、少年に仕事や通学をさせながら生活指導をしてもらう制度)をした少年が、仕事にやりがいを感じながら生き生きと生活できるようになり、審判でも事件を起こした責任や自分の問題点についてしっかりと振り返って話すことができているのを見て嬉しかったです。



《名古屋家庭裁判所半田支部調査室》

5 裁判官との関係について

(1)裁判官とどのようにチームワークを作り、維持していますか。

調査の方法等で悩むこともありますが、裁判官とはそのような悩みについて適宜のタイミングで相談できる関係にあります。

また、家庭裁判所調査官同士で個別の事案を検討する会議に裁判官に参加してもらうこともあります。

(2)これまで裁判官と接した中で印象に残っていることは何ですか。

少年事件でいえば、裁判官は、少年審判で、少年を厳しく叱ったり、指導したりした後に、温かい言葉で少年を励ますなど、法的な側面だけでなく、少年の気持ちに沿って手続を進行させることがあります。

家事事件でも、裁判官は審判(判断)を当事者に示すだけでなく、当事者の気持ちに耳を傾けながら調整しています。

そのような場面に立会い、裁判官が掛けた言葉で少年や当事者に変化が見えたり、私自身が少年や当事者をより深く理解できたことがあります。

(3)裁判官に伝えたいことはありますか。

いつも、少年や家族のことを考えて、一緒に頭を悩ませてくださることをとてもありがたく思っています。

これからもよろしくお願いいたします。



《裁判官・書記官とのミーティング》

6 今後の家庭裁判所調査官としての抱負や将来像をお聞かせください。

少年や当事者について考えることはもちろんですが、家庭裁判所を利用される方のお役に立てるように、専門性(行動科学等の知見や技法)を更に身に付け、裁判官や書記官と連携して、求められる役割を果たせる家庭裁判所調査官でありたいと思います。

## 7 最後に

家庭裁判所調査官は、家庭裁判所の手続きの中で少年や家族について深く考えることのできる仕事です。日々悩むことも多いですが、一人で抱え込む必要はなく、家庭裁判所調査官同士、裁判官、書記官と相談しながら仕事をしています。



《名古屋家庭裁判所半田支部玄関》